

科目名	邦楽器実習（箏） B, C, G, H	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	井本 聖子	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

箏という楽器を知る事により、日本音楽への興味を持ってもらいたい。

箏独特の楽譜と五線譜の両方を使い、古典曲の初歩と現代曲の演奏を行う中で楽器のなりたち、歴史、調絃などを理解する。

＝履修の条件と学習の方法＝

少ない授業回数ですので休まず出席してください。前向きな態度で授業に望み、積極的に個人練習してください。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 箏の説明
- 3回 箏の歴史
- 4回 箏の弾き方、調絃
- 5回 小曲演奏（テキストNO. 1～4）
- 6回 小曲演奏（テキストNO. 5～9）
- 7回 小曲演奏（テキストNO. 10～14）
- 8回 小曲演奏（テキストNO. 15, 16）
- 9回 アンサンブル「うさぎ」パート練習
- 10回 アンサンブル「うさぎ」合奏
- 11回 アンサンブル「花まつり」パート練習
- 12回 アンサンブル「花まつり」合奏
- 13回 「六段の調」一、二段 解説と演奏
- 14回 「六段の調」三、四段 解説と演奏
- 15回 「六段の調」五、六段 解説と演奏
- 16回 試験

＝成績評価の方法と評価の基準＝

実技テストの評価に出席の状況と授業態度を加味して成績をつけます。特に出席日数は重視します。

実技については授業中の注意を守り演奏できているか、調絃が理解できているかに重点を置き評価します。

＝テキスト（必携）＝

書籍名：箏入門の為の小品集

著者名：吉崎克彦

出版社：大日本家庭音楽会